

## JCN 現地会議in岩手

これからのために  
学ぶ。知る。つながる。

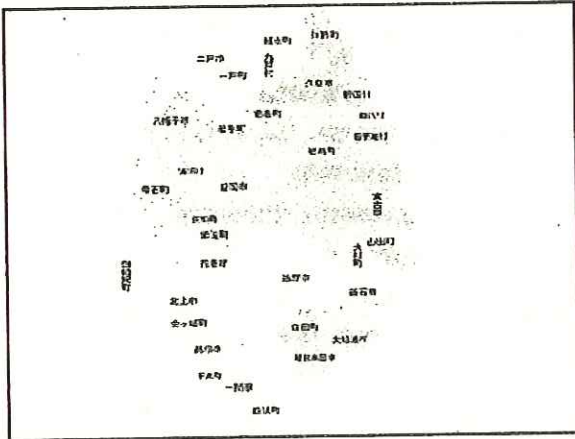
2011年11月11日(金) 13:05~15:55  
於：北上商工会議所 大会議室(3階)

もりおか女性センター 園 鶴 八重子

## 岩手県

岩手県より

1. 人口 05/10 国勢調査 1,385,041人  
09/10 推定 1,340,852人
2. 面積 15,278.89平方キロ(東京都7倍)  
(東京・神奈川・千葉・埼玉 合計よりも広い)
3. 行政区 7振興局  
34市町村/被災地 12市町村(35.29%)
4. 地形 内陸と沿岸の間には、北上山系があり、  
交通手段は、公共交通機関と車(100~120km)
5. 県都 盛岡市



## もりおか女性センター

1. 開設 2000年
2. 設置 公設公営
3. 指定管理者制度の導入  
2006年 指定管理者へ移行  
NPO法人参画フランニング・いわて  
現在2期目の3年 通算6年目
4. 情報事業・講座事業・交流事業・相談事業
5. 委託事業：盛岡市配偶者暴力相談支援センター
6. 委託事業：女性の起業応援

発災

日常 → 非日常

生活は、元来個別で多様

## 被災地での男女共同参画の推進

現実には、

「被災」という非日常状態での社会は、  
保守化し、  
性別役割分業が強化され

女性たちはケア役割を奨励された

1、「この非常時に・・・」「わがままだ」と聞き入れない管理運営者  
女性の意見が通らぬ、聞いてもらえない

2、女性の身体や健康は後回し

3、男性たちは、瓦礫の仕事、(有給)  
女性たちは、3度の食事の準備(無給)

4、DV、レイプ

5、男性たちは遊技場通い

## もりおか女性センターとしての役割は何か？

1、女性センターとして、なにができるのか？

2、センターとして、やらなければならないことは何か？

3、何と何ができて、なにができないのか？

4、何から・どこから、とりかかると？

## もりおか女性センターの取り組み

### 1、女性センターとして何ができるのか

(1)現地に入る女性(学生たち)に向けたチラシの発行

(2)デリバリーケア「食糧・ケアの出前」(現在も継続)

【物資】= 全国からの提供/89件(10月10日)

配送 310件(10月10日)

①公的機関の支援/公正・公平/過去の災害の教訓？

②時間、時間の経過とともに変化  
命をつなぐ物資から、仕事に関するグッズへ

③現地へ届ける(個人へ)

### (3)民間の支援とは？

①多様性に応える/個別の要望

欲しいものを欲しい方へ/face to face

②避難所と仮設住宅との違い

③物資の搬送だけではなく、「こころの支援」

(4)支援金の受け入れ/73件(10月10日)

①寄付金や物資の購入/季節による変化

②お金の使い方の助(印刷用、修繕費、ヘルプセンターなど)

③日用品(自転車・マシン・アイロンなど)

## 2、女性センターとしてやらなければならないこと

### (1)女性の相談事業

東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力相談  
(内閣府・岩手県・盛岡市・日本助産師会・いわて生活協同組合・当法人)

①無料相談電話「女性の心のケアホットライン」

5月10日～11月10日

件数 225件(10月25日現在)

内容 家族(人)関係、財産分与、検査や仮設住宅入居への不安、DV、仕事、トラウマ、PTSD、など

②「女性の心身の健康相談室」

7月10日～11月10日 2会場(富吉・盛岡会場)

件数 31件(9月末日)

内容 電話相談と同じ

### (2)女性の経済的自立(被災地緊急雇用創出事業)

「被災地女性自立のためのデリバリーケアプロジェクト」

●「買い物代行と安否確認」/個票の作成



券でるカー

100円負担

8月22日～平成24年3月31日/継続可能

被災地区:富吉市、大槌町、野田村

雇用:各3人女性 盛岡市 1人 全員10人

レンタカー(軽自動車)・携帯電話・PC・プリンターなど

女性の起業へのステップ

**働き盛りの人たちの人口流出  
／ 社会問題化？**

働く場所がない  
↓  
盛岡市や他県へ移住(家族)/高齢化率  
↓  
数年かかる港湾工事/  
震れるようなソフト面の 充実/  
女性の働きやすい環境づくり  
↓  
避難所女性たちも暮らしやすい環境

**支援とは、「日常」を積み上げること**

1. 被災地の回復は、  
「人の力」を回復させること
2. 人の力の回復は、  
「非日常」→「日常」へ  
その人らしさ=こだわりの積み上げ  
積み上げが多いほど日常化は早い

**防災に向けて**

1. 「備えあれば憂いなし」日ごろの準備  
(1) ジェンダーの視点での防災をシュミレーション  
(2) 日ごろの訓練 (子どもたちの死亡が大変少なかった)
2. 防災委員の増員  
～実働する(された)専門の方々の増員～  
助産師、看護師、保健師、民生児童委員、人権擁護  
委員、ケアマネージャー、地域包括支援センター他
3. 女性の参画への工夫  
暮らしに配慮した環境づくり/暮らしづくり

**今後の支援に向けた課題**

1. 被災者の自立 ≠ 継続的な支援  
支援終了と継続のジレンマ  
(1) 時期=いつごろか  
(2) かたち=どういうふうにと終了するのか
2. 被災女性への心のケアの継続と相談員  
の養成

**女性センターとしての使命は？  
まとめにかえて**

<震災時のジェンダー・イコリティの視点>

1. 女性への暴力の防止及び根絶、  
相談体制の強化/相談員の養成
2. 女性と防災の学習の強化  
避難所でのシュミレーション/実地
3. 復興委員会へ提言  
ジェンダー平等を提言する

事業は、NPO 法人参画プランニング・いわてが実施

## 1、東日本大震災「女性の心のケアホットライン・いわて」

内閣府、岩手県、盛岡市・もりおか女性センター、(社)日本助産師会岩手県支部、いわて生活者協同組合、NPO 法人参画プランニング・いわての協力の事業

フリーダイヤル (通話料無料)

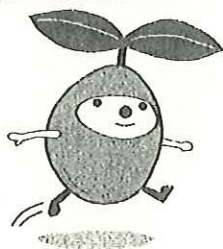
**0120-240-261**

相談期間：平成23年5月10日(火)～平成24年3月31日(土)

相談時間：10:00～17:00 土・日・祝も相談を受付けしています。

## 2、「買い物代行と安否確認」事業

盛岡市緊急雇用創出事業



芽でるカー 宮古

電話：090-7563-0746

**買い物代行**

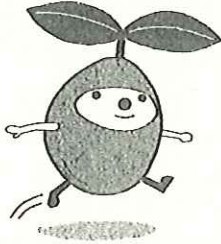
代行料 1回につき  
100円頂戴します。

日用品・食料品・雑貨などの  
買い物を代行します。

大型の商品についてはご相談願います

事業主体：盛岡市・もりおか女性センター

事業実施主体：特定非営利活動法人参画プランニング・いわて



## 芽でるカー 大槌

電話：090-7563-0937

### 買い物代行

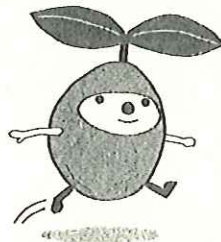
代行料 1回につき  
100円頂戴します。

日用品・食料品・雑貨などの  
買い物を代行します。

大型の商品についてはご相談願います

事業主体：盛岡市・もりおか女性センター

事業実施主体：特定非営利活動法人参画プランニング・いわて



## 芽でるカー 野田

電話：090-7563-0249

### 買い物代行

代行料 1回につき  
100円頂戴します。

日用品・食料品・雑貨などの  
買い物を代行します。

大型の商品についてはご相談願います

事業主体：盛岡市・もりおか女性センター

事業実施主体：特定非営利活動法人参画プランニング・いわて

問合せ先：NPO 法人参画プランニング・いわて 事務局 田端・平賀

電話番号 090-4889-6655 住所 〒020-0124 盛岡市厨川 4-13-8